

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公開番号】特開2020-92857(P2020-92857A)

【公開日】令和2年6月18日(2020.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2020-024

【出願番号】特願2018-233089(P2018-233089)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/535 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/53 3 0 0

A 6 1 F 13/535 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月18日(2020.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

吸水性纖維と、該吸水性纖維より吸水性の低い弱吸水性の纖維の集合体である纖維塊とを含む吸收体であって、

前記纖維塊同士又は前記纖維塊と前記吸水性纖維とが交絡しており、

前記纖維塊は、2つの対向する基本面と、該2つの基本面を連結する骨格面とを備えており、

複数の前記纖維塊同士が融着している第1領域と、複数の前記纖維塊同士が融着せずに交絡している第2領域とを有し、

圧縮ひずみ率が66%以上であり、

回復仕事量が235mN·cm/cm²以上である、吸收体。

【請求項2】

前記纖維塊及び前記吸水性纖維の合計含有質量に対する該纖維塊の含有質量の比率が、前記吸收体の厚み方向に関して、一方側が他方側よりも大きい、請求項1に記載の吸收体。

【請求項3】

前記纖維塊は、複数の熱可塑性纖維が互いに熱融着した3次元構造を有する、請求項1又は2に記載の吸收体。

【請求項4】

前記基本面の面積が9mm²以上60mm²以下である、請求項1~3のいずれか1項に記載の吸收体。

【請求項5】

前記基本面のアスペクト比が1以上2未満である、請求項1~4のいずれか1項に記載の吸收体。

【請求項6】

前記纖維塊の充填嵩密度が0.016g/cm³以下である、請求項1~5のいずれか1項に記載の吸收体。

【請求項7】

前記纖維塊の圧縮復元率が270%以上である、請求項1～6のいずれか1項に記載の吸収体。

【請求項8】

液透過性の表面シートと、裏面シートと、両シート間に介在配置された吸収体とを具備し、該吸収体が、請求項1～7のいずれか1項に記載の吸収体である吸収性物品。

【請求項9】

前記纖維塊及び前記吸水性纖維の合計含有質量に対する該纖維塊の含有質量の比率が、前記吸収体の厚み方向に関して、前記表面シート側よりも前記裏面シート側の方が大きい、請求項8に記載の吸収性物品。

【請求項10】

前記吸収性物品は着用者の前後方向に対応する縦方向と、該縦方向に直交する横方向とを有し、

前記表面シートと前記吸収体とが一体化されて該表面シート側が肌面側に窪んだ防漏溝が、前記縦方向に沿って前記横方向の両側に一対形成されており、

前記吸収体の前記裏面シート側における前記防漏溝に対応する位置に、非肌面側窪みを有し、該防漏溝と該非肌面側窪みとの間に該吸収体の形成材料が存在している、請求項8又は9に記載の吸収性物品。

【請求項11】

前記防漏溝と前記非肌面側窪みとの間では、前記纖維塊同士が融着している、請求項10に記載の吸収性物品。